

ストリートピアノ贈呈式

人と人をつなぐピアノに

6月1日、防災観光交流センターで、ストリートピアノの贈呈式を行いました。このピアノは、鹿児島まち自慢快発考舎・ストリートピアノJAPANが長い間自宅に眠っていたものをもらい受け、被災地支援として本市に寄贈したものです。

ピアノは、7月中にペイントを施し、8月上旬に行われるお披露目式を経て、同センターのピロティ内に設置し、自由に弾けるようになります。



銀河連邦「はやぶさランチ」

宇宙を身近に感じながら

6月13日、猪川保育園で、銀河連邦はやぶさランチを行いました。銀河連邦は、本市を含めた5市2町で組織しており、毎年同日の「はやぶさの日」にあわせ、市内の保育園で銀河連邦構成市町の特産品を使った給食を提供。園児たちは、宇宙をイメージした惑星おにぎりや流れ星のスープなど彩り豊かなメニューをおいしそうに食べました。この日は、園児によるクッキングも行われました。



(9) 広報大船渡 30. 7. 5(No. 1130)

防災観光交流センターオープニングイベント

上手に色塗りできるかな



6月2日、防災観光交流センターオープニングイベント「わたしの小鳥・ぼくの小鳥いろぬり遊び」が同センター内で行われました。

イベントでは、特定非営利活動法人おはなしころりんによる子どもたちへの絵本の読み聞かせを行った後、親子連れなどが、手のひらサイズの木彫りの小鳥に自由に色付けをして楽しんでいました。完成した作品は、センター内に展示されます。

道の駅「さんりく」トイレリニューアル

老朽化したトイレを改築



6月16日、三陸町越喜来の道の駅「さんりく」内において、老朽化により整備を進めていた公衆トイレの開所式を行いました。

完成した公衆トイレには、オストメイト対応の多目的トイレや子供用のキッズトイレ、女子トイレには親子で入れる親子トイレを設置しました。

ドライブなどでお出掛けの際は、新しくなった道の駅「さんりく」にぜひお立ち寄りください。

トピックス 1

いわて・大船渡港セミナー2018

5月28日、東京都内において、大船渡港物流強化促進協議会、本市、大船渡港振興協会の3者で、いわて・大船渡港セミナー2018を開催しました。

セミナーでは、戸田市長が、首都圏の物流事業者、商社、船社、荷主企業などに本市の復興状況や大船渡港の特徴や利用する際のメリットなどを説明し、大船渡港の利用を呼び掛けました。その後、定期コンテナ船事業を行うオーシャン・ネットワーク・エクスプレスジャパン株式会社の木戸貴文代表取締役社長執行役員がコンテナ船事業の情勢や大船渡港の重要性などについて講演を行いました。



①大船渡港物流強化促進協議会会長としてあいさつをする戸田市長
②講演する木戸貴文代表取締役社長執行役員

トピックス 2

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会ホストタウン首長会議

6月6日、首相官邸で、ホストタウン首長会議が行われました。ホストタウン事業は、2020東京オリンピック・パラリンピック大会出場国・地域と自治体との交流を目的としており、本市は、米国を相手国として「復興『ありがとう』ホストタウン」に登録されています。

同会議は、登録自治体の取り組みや、国の関連施策などについての情報共有を目的とし、今回初めて開催されたもので、今後も定期的に開催していく予定です。戸田市長は全国のホストタウンの代表として、震災直後に救援活動を行った米国搜索救助隊との交流や今後の取り組みなどについて発表しました。



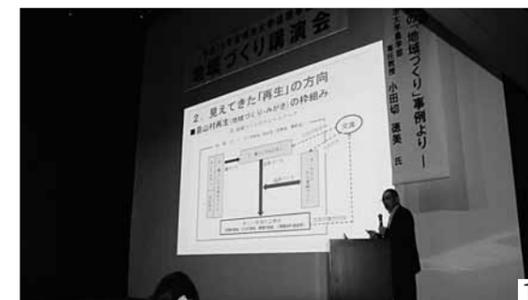
①本年3月に米国搜索救助隊2名を本市に招待し、交流事業を行いました②取り組みの先進自治体として発表する戸田市長

トピックス 3

平成30年度明治大学連携事業「地域づくり講演会」

6月24日、リアスホールで、地域づくり講演会を行いました。本市と明治大学は、平成24年に震災復興に関する協定を締結しており、今回は、震災後の地域振興や地域活性化に関わる連携として講演会を開催。講演会では、農山村をはじめとする地域再生に精通している明治大学農学部の小田切徳美専任教授が、地域づくりをテーマに講演を行いました。

講演では、主に西日本の地域づくりの事例や都市部から地方への新しい田園回帰の動きを紹介。参加者は、地域づくりの大切さについて理解を深めました。



①地域づくりについて説明する小田切専任教授
②主催者代表としてあいさつ述べる戸田市長